

※本文中の()内の数値は、志願者数の前年度対比指数を表します。

◎志願者の増減が目立った大学

□受験料割引制度等の導入を行った大学の増加が目立つ

6月19日現在、一般選抜の志願者数が確定した大学で、志願者数の増加、減少がそれぞれ3,000人以上の大学について見ていきます。

増加が最も多かったのは桜美林大の23,116人(178)、次いで日本大の19,670人(121)、近畿大の17,242人(111)、摂南大の14,737人(234)、芝浦工業大の14,651人(138)、名城大の11,936人(126)で、10,000人以上増加は以上の6大学です。3,000人以上の増加まで含めると32大学で、前年度最終の23大学から9大学増加しました。

桜美林大は、一般方式で同一試験日であれば1回分の受験料で複数併願可能としたことで、17,866人(171)の激増となりました。また、共通テスト利用方式は異なる科目型での併願を無料としたことで、5,230人(213)の倍増以上となりました。日本大は近年大学を取り巻く厳しい環境から大学全体で志願者数が減少していましたが、前年度の大幅増加に引き続き今年度も19,670人の大幅増加で、志願者数は6年ぶりに11万人を上回りました。近畿大は2023年度、2024年度と2年連続志願者数がやや減少していましたが、前年度はやや増加、今年度は17,242人(111)の増加で志願者数は17万人を上回り、私立大の中で志願者数最多となりました。

摂南大は併願数が増えても受験料を一律としたことなどで、志願者数は14,737人(234)増加し、5年ぶりに25,000人を上回りました。芝浦工業大は14,651人(138)の大幅増加で、志願者数は2年連続増加しました。改組があったシステム理工(185)が激増しました。

名城大は3年連続志願者数が増加となりました。併願割引の対象に<共テ・C方式前期>を加えたため、同方式だけで、8,579人(264)の2.6倍以上となりました。

減少が最も多かったのは武蔵大の3,617人(82)、次いで国際医療福祉大の2,560人(78)、大阪産業大の2,322人(79)でした。3,000人以上の減少したのは武蔵大のみで、前年度最終の6大学から5大学減少しました。

武蔵大は志願者数が2年連続増加していましたが、今年度は3,617人の大幅減少。学部別では4学部全てで減少し、人文(71)、社会(84)はいずれも大幅減少でした。

なお、近年は入試日程や方式の追加、併願時の受験料の割引などで受験生の利便を図ることによって志願者数を増加させている大学もあることから、単純に志願者数の延べ人数だけで、大学の人気を測れないことにも十分に留意してほしいと思います。

【3,000 人以上増加した大学】

大学	志願者数増減		志願者数		コメント
	増減数	指数	2026 年度	2025 年度	
桜美林大	+23,116	178	52,830	29,714	大学全体では、23,116 人(178)の激増。一般方式では同一試験日であれば1回分の受験料で複数の併願が可能で、共通テスト利用方式でも異なる科目型での併願が無料。方式別では、一般方式は17,866 人(171)の激増、共通テスト利用方式では 5,230 人(213)の倍以上。
日本大	+19,670	121	111,902	92,232	大学全体では、19,670 人(121)の大幅増加。志願者数は 6 年ぶりに 11 万人を上回った。方式別では、一般方式は 17,727 人(126)の大幅増加、共通テスト利用方式は 1,943 人(108)の増加。学部別では、前年度に引き続き 17 学部全てが増加。
近畿大	+17,242	111	174,768	157,526	大学全体では、17,242 人(111)の増加で、志願者数は 174,768 人。志願者数は 17 万人を上回り、2 年連続で増加。方式別では、一般方式は 11,033 人(110)の増加で、8 年ぶりに 12 万人を上回った。共通テスト利用方式は 6,209 人(113)の増加で初めて 5 万人に達した。
摂南大	+14,737	234	25,708	10,971	大学全体では、14,737 人(234)の 2.3 倍以上。併願数が増えても受験料を一律としたことなどで、志願者数は 7 年ぶりに増加し、2.5 万人を上回った。
芝浦工業大	+14,651	138	53,158	38,507	大学全体では、14,651 人(138)の大幅増加で、志願者数は 53,158 人となり、2 年連続増加。学部別では、全学部が増加で、改組があったシステム理工(185)が激増。建築(133)、工(124)はいずれも大幅増加。デザイン工(110)が増加。
名城大	+11,936	126	58,144	46,208	大学全体では、11,936 人(126)の大幅増加で、3 年連続増加。方式別では、一般方式は 2,538 人(109)の増加で、共通テスト利用方式は 9,398 人(154)の大幅増加。併願割引の対象に<共テ・C 方式前期>を加えたため、同方式だけで 8,579 人(264)の 2.6 倍以上。
京都産業大	+9,191	129	40,946	31,755	大学全体では、アントレプレナーシップ学環の新設もあり、9,191 人(129)の大幅増加で、志願者数は 40,946 人。2 年連続増加し、5 年ぶりに 4 万人を上回った。学部別では、全学部が増加で、特に文化(198)、法(162)は激増。
東海大	+8,446	123	45,389	36,943	大学全体では、<共テ・中期>の新規実施もあり、8,446 人(123)の大幅増加で、志願者数は 45,389 人。前年度の微増に続き大幅増加し、4 年ぶりに 4 万人を上回った。学部別では、23 学部中、情報通信、医を除く 21 学部で増加で、特に健康(164)は激増。
愛知大	+8,425	141	29,164	20,739	大学全体では、8,425 人(141)の大幅増加で、2 年連続増加。全試験日で全学部・学科を併願できるようにしたことや、共通テストの入試方式を増やしたことが影響。
成蹊大	+8,409	138	30,688	22,279	大学全体では、国際共創学部の新設もあり 8,409 人(138)の大幅増加。学部別では、新設の国際共創を除く 5 学部全てが増加で、法(148)、文(124)、経営(124)、経済(120)はいずれも大幅増加、理工(104)はやや増加。
神奈川大	+7,553	126	36,533	28,980	大学全体では、<一般・全学部統一>の新規実施もあり、7,553 人(126)の大幅増加で、志願者数は 36,533 人。2 年連続減少していたが、6 年ぶりに 3.6 万人を上回った。学部別では、11 学部中 9 学部が増加。
立教大	+7,365	112	70,194	62,829	大学全体では、7,365 人(112)の増加で、志願者数は 70,194 人。2 年連続増加で、8 年ぶりに 7 万人を上回った。方式別では、一般方式は 4,810 人(113)、共通テスト利用方式は 2,555 人(110)の増加で、いずれも 2 年連続増加。
関西大	+7,117	109	86,952	79,835	大学全体では、7,117 人(109)の増加で、2 年連続増加。方式別では、一般方式は 4,529 人(108)、共通テスト利用方式は 2,588 人の増加で、いずれも 2 年連続増加。学部別では、社会安全(137)、商(121)、外国語(120)、法(120)、システム理工(118)、社会(117)はいずれも大幅増加。

大学	志願者数増減		志願者数		コメント
	増減数	指数	2025 年度	2024 年度	
追手門学院大	+7,075	135	27,551	20,476	大学全体では、7,075 人(135)の増加で、2年連続増加。前年度から実施している受験料の追加のない複数志望制を理工にも適用したため、志願者数は 2.7 万人を上回った。
龍谷大	+6,155	110	69,607	63,452	大学全体では、6,155 人(110)の増加で、志願者数は 69,607 人となり、2 年連続増加。方式別では、一般方式は 4,752 人(111)の増加で、2 年連続増加。共通テスト利用方式は 1,403 人(106)のやや増加で、3 年連続増加。
法政大	+6,133	106	111,240	105,107	大学全体では、6,133 人(106)のやや増加で、志願者数は 111,240 人。3年連続 10 万人を上回った。方式別では、一般方式は 5,940 人(108)の増加で、3年連続増加。共通テスト利用方式は 193 人(101)の微増で 5 年連続増加。学部別では、15 学部中 11 学部が増加。
京都橘大	+5,618	134	21,943	16,325	大学全体では、5,618 人(134)の大幅増加で、2年連続増加。学科新設や、前年度から実施している受験料の追加のない併願を 1 日 5 学科から 6 学科に増やしたため、志願者数は 2.1 万人を上回った。
東洋大	+5,471	105	119,233	113,762	大学全体では、5,471 人(105)のやや増加で、志願者数は 119,233 人。3 年連続の志願者数増加となり、私立大の中では志願者数が 3 番目に多かった。方式別では、一般方式は 3,266 人(105)のやや増加で、3年連続増加。共通テスト利用方式は 2,205 人(105)のやや増加。
中京大	+5,224	119	32,561	27,337	大学全体では、5,224 人(119)の大幅増加で、2年連続増加。志願者数は 5 年ぶりに 3 万人を上回った。方式別では、一般方式は 3,143 人(120)の大幅増加。共通テスト利用方式は 2,081 人(117)の大幅増加。
専修大	+5,206	111	54,228	49,022	大学全体では、5,206 人(111)の増加で、志願者数は 2 年ぶりに 5 万人を上回った。方式別では、一般方式は 3,797 人(112)の増加で、8 学部中 7 学部が増加。共通テスト利用方式は 1,409 人(108)の増加。
成城大	+5,020	134	19,925	14,905	大学全体では、5,020 人(134)の大幅増加。学部別では、4 学部中 3 学部で大幅増加し、特に経済(168)は激増。前年度減少の反動や入試日程の増加が影響。
東京理科大	+4,940	109	61,979	57,039	大学全体では、4,940 人(109)の増加で、志願者数は 61,979 人と 7 年ぶりに 6 万人を上回った。方式別では、一般方式は 798 人(98)の微減。共通テスト利用方式は 5,738 人(129)の大幅増加。
関西外国語大	+4,262	155	11,948	7,686	大学全体では、4,262 人(155)の大幅増加で、志願者数は 1 万人を上回った。英語のリスニングテストを取りやめ、英語外部試験の得点による加点方式に変更、選択科目に地歴を追加、＜一般・前期＞を 1 月に実施したことなどが志願者数増加につながった。
昭和女子大	+3,993	155	11,188	7,195	大学全体では、3,993 人(155)の大幅増加で、志願者数は 6 年ぶりに 1.1 万人を上回った。総合情報学部の新設や、2 学科出願までは 1 学科受験と同一の受験料とすることなどが志願者数増加につながった。
帝京大	+3,892	116	28,509	24,617	大学全体では、3,892 人(116)の大幅増加で 2 年連続増加。学部別では、10 学部中 9 学部は増加で、法(161)、理工(145)、教育(126)、外国語(125)、医(117)はいずれも大幅増加。唯一減少した薬(96)はやや減少。
福岡大	+3,834	108	49,739	45,905	大学全体では、3,834 人(108)の増加で 3 年連続増加。学部(医は学科)別では、10 学部中 9 学部は増加。唯一減少した経済(99)も微減。
青山学院大	+3,772	107	54,444	50,672	大学全体では、3,772 人(107)のやや増加で、3 年連続増加。学部別では、11 学部中 8 学部が増加。その中で、総合文化政策(130)、教育人間科学(120)の 2 学部は大幅増加。

大学	志願者数増減		志願者数		コメント
	増減数	指数	2025 年度	2026 年度	
工学院大	+3,595	117	24,483	20,888	大学全体では、3,595 人(117)の2年連続大幅増加。方式別では、一般方式は各種受験料割引制度を導入し、3,283 人(133)の大幅増加。共通テスト利用方式は312 人(103)のやや増加。
大阪学院大	+3,341	370	4,579	1,238	大学全体では、3,341 人(370)の 3.7 倍。志願者数は7年ぶりに増加。方式別では、一般方式は受験料割引制度を導入し、3,103 人(402)の4倍以上。共通テスト利用方式は238 人(212)の激増で3年連続増加。
九州産業大	+3,250	120	19,401	16,151	大学全体では、3,250 人(120)の2年連続大幅増加。学部別では、9 学部中7 学部が増加。その中で、国際文化(148)、人間科学(146)、経済(130)、商(122)、生命科学(115)の5 学部は大幅増加。
大和大	+3,233	124	16,594	13,361	大学全体では、3,233 人(124)の大幅増加で2年連続増加。学部別では、6 学部中5 学部が増加。その中で、情報(202)は倍増以上、募集人員増加の社会(171)、教育(135)はいずれも大幅増加。

【3,000 人以上減少した大学】

大学	志願者数増減		志願者数		コメント
	増減数	指数	2025 年度	2024 年度	
武蔵大	-3,617	82	16,925	20,542	大学全体では、3,617 人(82)の大幅減少で、志願者数は16,925 人。前年度は20,542 人だったが2 万人を下回った。学部別では、4 学部全てで減少。特に人文(71)、社会(84)はいずれも大幅減少。